

HAPPY 新聞 No.3



発行 社団法人 日本新聞協会

〒100-8543
東京都千代田区内幸町 2-2-1
日本プレスセンタービル 7階
電話：03-3591-4407
<http://www.readme-press.com>

HAPPY NEWS 2006

CONTENTS

HAPPY NEWS 2006

入選作品発表

私のHAPPY

眞鍋かをりさん

インタビュー

HAPPY NEWS BOOKS

4月6日は「新聞をヨム日」。日本新聞協会はこの日に合わせて「HAPPY NEWS 2006」の結果を発表しました。

このキャンペーンには、新聞がむずかしい話、暗い話だけでなく、読んだ人を笑顔にするようなしあわせなニュースを届けている、そしていい記事が増えて、読む人がHAPPYになることで、世の中が少しでも明るくなったらいーそんな願いがこめられています。

参加の方法は簡単。新聞を読んでしあわせな気分になった記事を切り抜き、その理由のコメントを添えて

応募するだけです。たとえ新聞の片隅にちよこんと載ったような小さな記事でも、自分はこれだけHAPPYになれたよ、とみなさんにアピールしていただくキャンペーンなのです。

3回目となる今回は、過去最多の9069件の作品が集まりました。年々増える応募数には驚くばかり。海外からも多くの応募があり、キャンペーンは予想以上の広がりを見せています。

応募作品の整理には、大學生にも参加してもらいました。選考は、若い彼らの意見も参考に、しあわせな気持ちより多くの人々に伝えてくれる作品を求め、厳正に行われました。

そしてこのたび、2006年度のHAPPY NEWS 計13件が決まりました。高校生以下の方からの応募を対象にした「HAPPY NEWS YOUNG」は今回から、「小学生以下」「中学生」「高校生」の3部門に分けました。読む人みんながしあわせな気分になれる作品を、次ページからご紹介します。

キャンペーンは2007度も実施します。あなたもぜひ新聞を読んで、心があたたかくなった記事、元気になった記事、思わず笑ってしまった記事を探してみてください。そしてキャンペーンに参加して、全国の人々に「HAPPYのおすそわけ」をしてください。



HAPPY NEWS大賞

命を救い完走



「自分は救急救命士として、この記事を読んで、一言がすぐ頭の中に残りました。人が倒れている状況で救急救命士を頼れば、その人の命を預かることになり、私も、これがフルマラソンの途中で、それもゴールまであと1キロ、40キロを過ぎ、自らのペースを中断しての言葉だったかと思えます。

ただ健康のためだけにフルマラソンを走る人は、そうはいないと思います。吉田さんも同じく何か目標を持って参加したのだと思います。その目標達成まで残り1キロの時、倒れている男性に気づきます。男性の周りに既にスタッフが

命を救い完走

いたので、そのまま競技を続ける選択もできたはずですが、それでも、救急活動を選んで吉田さん。僕は、吉田さんが大切にしている事をこの記事を読んで感じました。それは単に「仕事だから」ではありません。「人間としてやらなければならないことがある」という意識です。

温かい心と笑顔が僕にも伝わりました。ありがとうございます。そして「自分には○○です」と自信を持って言える事を、探り、力強い人間になりたいと思います。

▼神奈川県 2007年2月20日付朝刊を読んで
柏木克仁さん 19歳(神奈川県)

心肺停止の男性に人工呼吸、AED

フルマラソンも救命措置も完走。一。横浜市安全管理局・保土ヶ谷消防署警備一課救急係長で消防司令補の吉田茂男さん(49)が、18日行われた東京マラソンで心肺停止状態の男性ランナー(58)の命を救った。ゴール目前で救命措置を優先。人工呼吸や自動体外式除細動器(AED)を使い、男性の意識が回復したことを見届けた上でゴールを駆け抜けた。(佐藤 英仁)

東京マラソン 横浜の消防署員・吉田茂男さん

吉田さんによると、倒れている男性を発見したのは44分。意識、呼吸、脈拍はすべてなく、心肺停止と確認した。介抱に当たっていた競走スタッフらに「自分は救急救命士です」と名乗り、マウスブローマウス人工呼吸を実施。「勤務以外では初めての経験。まさか三万人もいるランナーの中で、倒れた方に遭遇するとは思わなかった」と振り返った。

救命措置を続けながらAEDを探すと、前方、大学生ボランティアの方に心臓マッサージを行わせ、AEDによる電気ショックなどで、EDによる電気ショックなどで、男性の脈、呼吸を回復させた。意識が戻ったことを確認すると、到着した東京消防庁の隊員に状況を説明し、レースに戻ったという。

この間、約十分の出来事。ゴールで長男の龍馬君(小学3年生)に



人命救助の後にゴールし、長男龍馬君(左)に出迎えられた
東京・江東区の東京ビックサイト
吉田さん

らに迎えられた。心肺停止は、初期段階の数分間の救護が生死を分けるといわれるが、吉田さんは「救急救命士としての使命です」。一方で「AEDがなければ男性は助からなかった。きんぐん(配置)大会運営のた、おかげです」と天会事務局を評価した。

同マラソン事務局によると、大会には百人の医師や看護師が選手として、併走し、救護所も十四カ所に設置。AEDも四十台用意し、うち四台は大学生グループが自車で携帯し、不測の事態に備えていた。東京消防庁の事態に備えて、東京消防庁は「自分のペースを止めてまで迅速・的確に対応してくれたおかげで男性が助かった。AEDの有効性も認識した」と、同業者の機転に感謝していた。

新聞を通して読者にやさしい気持ちやうれい気分を届けてくれた方を、HAPPY NEWS PERSONとして表彰します。

吉田茂男さん
(横浜市 救急救命士)
横浜市保土ヶ谷消防署に勤務する吉田さんは、消防・救急に携わり勤務27年。現在、気管挿管、薬剤投与ができる数少ない「認定救急救命士」の一人として、市民の命を救うために日々活躍しています。

プライベートでは18年前、32歳からマラソンを始め、これまでロードレース30回、フルマラソン4回の出場経験を持っています。次回には浜マラソンに出場する予定。

休みの時も、倒れている人がいたら、すぐに対応できるように、フリースタイル「ト」を所持しているそうです。

世界とつながる心

「あ、きれいな街でしあわせた。おとし、成田空港で旅から帰ったばかりの私が、つぶやいた言葉です。

行ってきたのは、貧富の格差がひとほの舞う「インド」でした。

かなの田舎で行った私の「インド」の現実は、人の多さや山、とても美しいのに、走ってバスに手を振るはした子供たちの目をみたら、

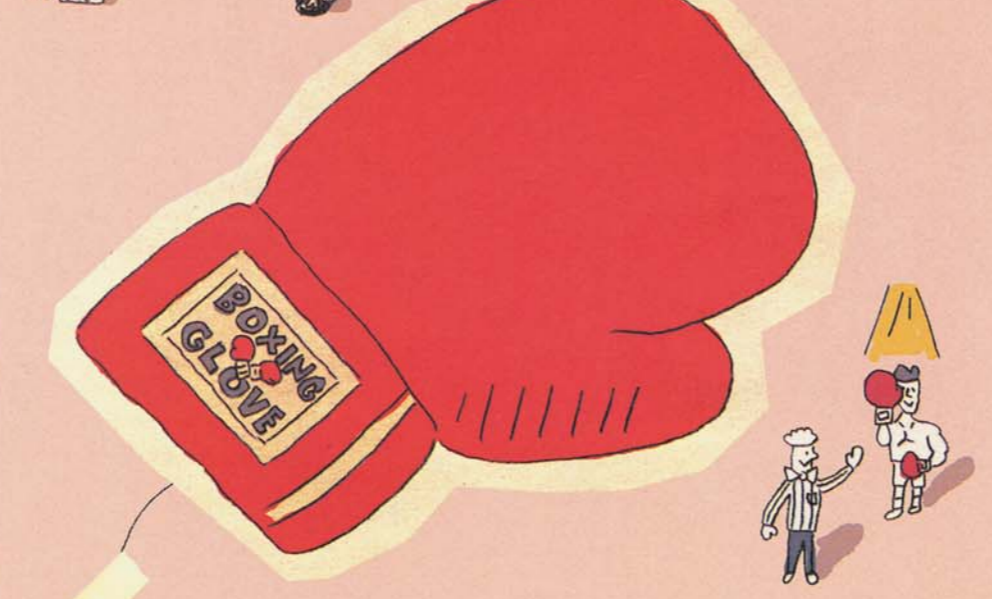
思わぬことに日本に感謝して、何もできなかった旅での自分を一年たつて忘れていた時、この記事を目にした時、こ

し、自己満足な極

める日本の子供たちの話が多い中、世界の貧しい人に向けて、「梅干し弁当」を学校で食べるという行動が、とてもよかったです。そして、私自身もこのお屋敷の貧しいお屋敷のアイディアが、とても気に入りました。

具なしお粥を食べる時、世界の貧しい人々を思いやる。私もその一環として、世界と心をつなぐ「梅干し」を分けたいと思います。

▼北海道新聞 2006年10月31日付朝刊を読んで
金田順子さん 52歳(北海道)



平成のKOキング 坂本ラストファイト

元プロボクサーで、現在は、家庭教師として活躍する坂本博之さん(49)が、12月19日、札幌市で引退試合を行った。引退試合は、札幌市で引退試合を行った。引退試合は、札幌市で引退試合を行った。

運命変えたパンチ

この話、どこかで見たことがある。な努力・精進。そして様々な「ハイキック」を克服して、東洋太平洋ライト級王者という栄光を自らの力で勝ち取った。そこから得られた教訓を、自分のためだけに、育った施設への寄付や、基金作りに使っている。

不遇の中から、自分で運命を変えていったその力強い生き様、得た富の使い方、彼の記者から、多くのことを教わられた。

▼経緯新聞 2007年1月7日付朝刊を読んで
加藤智恵美さん 53歳(宮城県)

孤児院転々：世界挑戦失敗：手術

元プロボクサーで、現在は、家庭教師として活躍する坂本博之さん(49)が、12月19日、札幌市で引退試合を行った。引退試合は、札幌市で引退試合を行った。

みなさんの心が少しでもホッとすまうといいですね。

「有森裕子さん」
1966年生まれ。五輪女子マラソンでは92年、96年と連続メダルを獲得。その後、社会人としてマラソンを走らせた「HAPPY」新聞No.2を競った感想を聞かされた。

初めて目にしたので、何とも言えませんが、こんな新聞が少すつ広がり、

おきり考

「梅干し弁当」の日は、貧乏なおきりをほおぼる生徒たち

世界とつながる心

「梅干し弁当」の日は、貧乏なおきりをほおぼる生徒たち



「梅干し弁当」の日は、貧乏なおきりをほおぼる生徒たち
札幌聖心女子学院

有森裕子さん

「HAPPY」をそんな動物と言った向ですか。パンダ。あ、メ、ホホ。感があわせもの。

「HAPPY」をそんな動物と言った向ですか。パンダ。あ、メ、ホホ。感があわせもの。

私のHAPPY

「HAPPY」をそんな動物と言った向ですか。パンダ。あ、メ、ホホ。感があわせもの。

有森裕子さん

「HAPPY」をそんな動物と言った向ですか。パンダ。あ、メ、ホホ。感があわせもの。

「HAPPY」をそんな動物と言った向ですか。パンダ。あ、メ、ホホ。感があわせもの。

保存の女性「捨てるに捨てられず」



再会の少女 驚きと感謝

【西日本新聞】「紙風船」の発行をきっかけに、再会を果たした少女が、紙風船の発行をきっかけに、再会を果たした少女が、驚きと感謝を口にしている。

100キロの旅 紙風船戻った 松山

HAPPY NEWS YOUNG ~小学生



【一ノ】あまのこを飛ばした。紙風船が100キロの旅を終り、松山に帰ってきた。再会を果たした少女が、驚きと感謝を口にしている。

HAPPY NEWS YOUNG

高校生以下の方々からの応募の中から選んだ HAPPY NEWS です。

100キロの旅 紙風船戻った

【一ノ】あまのこを飛ばした。紙風船が100キロの旅を終り、松山に帰ってきた。



HAPPY NEWS YOUNG 中学生



HAPPY NEWS YOUNG 高校生

野菜を育て 野菜嫌いが直った

【大阪府】「野菜を育ててみる」ということで、野菜嫌いが直ったという。母の手伝いをすることで、野菜が嫌いではなくなった。

野菜を育て

【大阪府】「野菜を育ててみる」ということで、野菜嫌いが直ったという。母の手伝いをすることで、野菜が嫌いではなくなった。

毎朝新聞 2006年5月5日付朝刊を読んで、柳原美佳さん 16歳 (大阪府)



2004年1月、ダッカの村で、村民の前に語るムハマド・ユヌス氏(右)

ノーベル賞 ユヌス氏に平和賞

【一ノ】ノーベル賞を受賞したユヌス氏に、平和賞が贈られた。貧困層救済への貢献が評価された。

ユヌス氏に平和賞

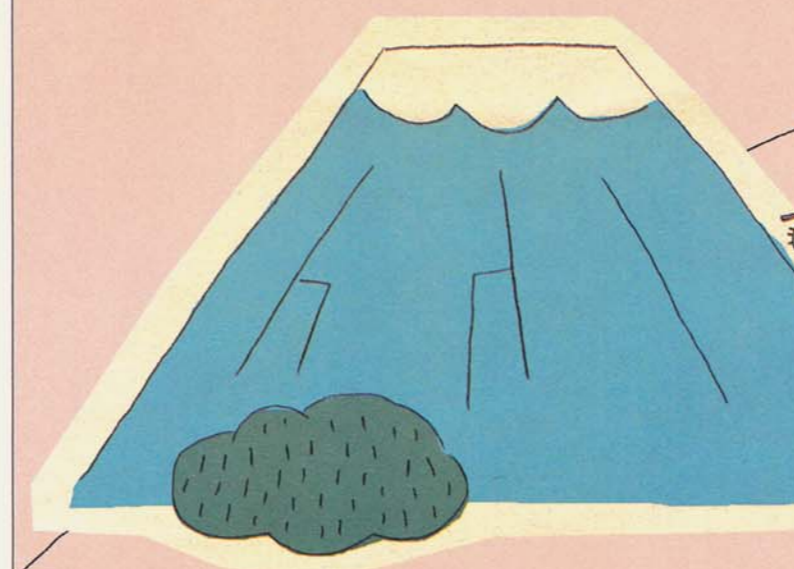
【一ノ】ノーベル賞を受賞したユヌス氏に、平和賞が贈られた。貧困層救済への貢献が評価された。

行く、夕張へ



健康まで破たんさせない。行く、夕張へ。夕張市破たんのニュースを、暗い気持ちで受け止めた。でも、健康まで破たんさせない。行く、夕張へ。

夕張市破たんのニュースを、暗い気持ちで受け止めた。でも、健康まで破たんさせない。行く、夕張へ。夕張市破たんのニュースを、暗い気持ちで受け止めた。

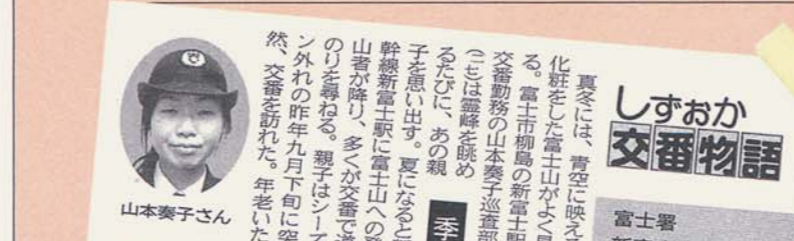


親子の思い 霊峰に返す

【一ノ】親子の思い、霊峰に返す。山に登ることで、親子の思いが伝わる。

即答の医師 妻子残し赴任。即答の医師、妻子を残して赴任した。

私のHAPPY。私のHAPPYな瞬間。家族が揃って過ごす瞬間。



山本美子さん

しずおか 交番物語。しずおか交番の物語。山本美子さんの交番での日々。

ダーリンハニーさん。HAPPYを感じるのは、舞台の上と特急のクロスシート。HAPPYを感じるのは、舞台の上と特急のクロスシート。



新聞で新しい出会いを見つけよう



眞鍋かをりさん あなたが見つけたHAPPYを 日本中の人にすすめてください

—眞鍋さんで自身が初めて新聞に載ったときのこと、覚えてますか？
はい、覚えてます。水着のキャンペーンガールに選ばれたときでした。スポーツ新聞などは紙面の半分も大きさを取り上げてくれて、もちろん、すごくうれしかったんですけど、まだそのときは大学生だったんですが、その日学校に行ったらスポーツ新聞を持ってわたしの記事を読んでいる人がそこら中に出て(笑)。

—新聞に載るといのは、どんな気分ですか？
へんな感じですよ。雑誌に載ると違って、「あっ、

—えっ、科学？
はい。実は4年ほど科学番組をやっているんで、どうして目が行っちゃったんです。昨年なんかは、日本の人工衛星「はやぶさ」の記事を見つけたら夢中で読んでいました。小惑星に着陸して採取した石を地球に持ち帰る計画なんですけど、トラブルがあって、いま帰ってこられるかどうか



—くわしい!! (笑)
科学記事の見出しがあるとパッと目に入っちゃいます。

—ふだん新聞を読むとき、どんな記事に目がいきますか。やっぱり芸能記事？
そうですね。それから、

—あわせ度が高い小さなHAPPY
—日々経験するささやかなしあわせってありますよね。眞鍋さんにとってそんな「小さなHAPPY」ってどんなことですか？
ごはんがおいしくて、お酒がおいしくて、お風呂につかる時間がたっぷりあって、寝る時間もしっかりあることかな。いまは独身でひとりの暮らしですけど、そういうひとりでいる時間がしあわせだなんて思うときもあります。ひとり、CDを聴きながらお酒を飲んでリラックスしているときって、自分にとってはむしろ大きなしあわせかもしれませんね。

—大勢でいるよりひとりのほうが好きなんですか？
もちろん友達たちといっしょにおいしいものを食べて、お酒飲んだるときは「なんて楽しいんだろ!!」って思いますよ。でも、ひとりでいる時間も大好きなんです。あっ、そうそう、「小さなHAPPY」はまだありました。インターネットで注文したものが宅配ボックスに入っていたとき!! (笑)

—どんなものをかうんで最近ハマっているんですか？
どこかの農園のなんとかジャムとか、珍しいものを見つけては注文するんです。このあいだなんかは柿のジャムとか、キウイのジャムとか買いました。楽しいですよ。そういう食べ物はネットでも買えます。昨日はネットで昔のテレビゲーム機のカセットをいっばい注文しました(笑)。

—では、眞鍋さんにとっての「大きなHAPPY」ってなんですか？
うーん、そうですね。仕事のこととか、「大きなHAPPY」はいっぱいあるとは思ってませんが、わたしにとっては「小さなHAPPY」のほうがしあわせ度が高いかも……。

—「眞鍋かをりさん」は1981年3月31日生まれ。横浜国立大学卒業。趣味はパソコン、料理、「どくダネ」(フジテレビ系)、「サイエンスZERO」(NHK)などのテレビ番組やドラマ、映画で活躍中。「HAPPY NEWS 2006」の表彰式ではプレゼンターとして登場。



—自分が見たかった記事のところに偶然発見した記事が、その人の人生を変えるきっかけになるかもしれないんです。そういう、出会いをつくり出してくれるのが新聞というものじゃないでしょうか。

—「眞鍋かをりさん」は1981年3月31日生まれ。横浜国立大学卒業。趣味はパソコン、料理、「どくダネ」(フジテレビ系)、「サイエンスZERO」(NHK)などのテレビ番組やドラマ、映画で活躍中。「HAPPY NEWS 2006」の表彰式ではプレゼンターとして登場。



2006年度キャンペーンは こうして実施しました

【応募要項】
①2006年度の新聞を読んでHAPPYになった記事の切り抜きを同封のうえ、②記事の掲載日、掲載紙名、朝夕刊の別、③HAPPYになった理由(400字以内)、④郵便番号、⑤住所、⑥氏名、⑦年齢、⑧性別、⑨職業(学校名、学年)、⑩電話番号を書いて、郵送もしくはインターネットで応募。インターネットの場合は、①の切り抜きを別途郵送。
【応募締め切り】
第1回：2006年9月30日(土)
第2回：2007年2月28日(水) ※当日消印有効
【応募対象】
2006年4月1日から2007年2月28日までに新聞に掲載された記事(新聞広告や読者からの投稿は除く)。
※2007年3月のHAPPY NEWSに関してのみ、3月中も応募を受け付け。
【審査・発表】
日本新聞協会が審査を行い、10件程度の「HAPPY NEWS 2006」を、さらにその中から「HAPPY NEWS 大賞」を1件選定。
また、「小学生以下」「中学生」「高校生」の方を対象にそれぞれ「HAPPY NEWS YOUNG」を各1件選定。
・「HAPPY NEWS 大賞」30万円相当の副賞
・「HAPPY NEWS 2006」10万円相当の副賞
・「HAPPY NEWS YOUNG」5万円相当の副賞
さらに、新聞記事を通じて日本にHAPPYな気持ちをもたらした人を「HAPPY NEWS PERSON」として顕彰。受賞者には、新聞記事の切り抜きを入れた特製表彰盾を贈呈。

HAPPY NEWS BOOKS

2006年度
HAPPY NEWSが、
本屋さんでも手に入るのを知っていますか。
これまでのHAPPY NEWS キャンペーンでは、入選作品を中心に、全国の皆さんから応募されたしあわせな記事の一部を、本にまとめて紹介しています。これまで出版された2冊には、新聞がはこんだ身近なしあわせがぎゅっと詰まっています。
2004年度キャンペーンを素材にした本「HAPPY NEWS」は、独特の手触りのあるカバー、新しくて2006年度版も、文藝春秋から刊行される予定です。どうぞご期待ください。

2005年度版
2004年度版
「心がぽかぽかするニュース」
「HAPPY NEWS」
「心がぽかぽかするニュース」は、2005年7月28日刊(マガジンハウス) 128ページ 千円(税込)。
「心がぽかぽかするニュース」は、2006年8月10日刊(文藝春秋) 144ページ 千円(税込)。

HAPPY NEWS 2007 も募集を始めます 詳しくはウェブサイト <http://www.readme-press.com> で。

日本の新聞・通信社 日本新聞協会加盟の新聞・通信社です。同協会ウェブサイト (<http://www.pressnet.or.jp>) から各社のサイトにアクセスできます。
●東京地方/朝日新聞東京本社/毎日新聞東京本社/読売新聞東京本社/日本経済新聞社/東京新聞/産経新聞東京本社/サンケイスポーツ/夕刊フジ/内外タイムス社/ジャパンタイムズ/報知新聞社/日刊工業新聞社/日刊スポーツ新聞社/日本工業新聞社/スポーツニッポン新聞社/東京スポーツ新聞社/電波新聞社/日本繊維新聞社/日本海新聞社/水産経済新聞社/東京ニュース通信社/日本農業新聞/共同通信社/時事通信社/エヌビ通信社
●大阪地方/朝日新聞大阪本社/毎日新聞大阪本社/読売新聞大阪本社/日本経済新聞大阪本社/産経新聞大阪本社/大阪日刊スポーツ新聞社
●北海道地方/北海道新聞社/室蘭民報社/十勝毎日新聞社/釧路新聞社/苫小牧民報社/北海道日刊スポーツ新聞社/道新スポーツ
●東北地方/東奥日報社/陸奥新報社/アーリー東北新聞社/岩手日報社/岩手日日新聞社/河北新報社/秋田魁新報社/北羽新報社/山形新聞社/庄内日報社/米沢新聞社/福島民報社/福島民友新聞社/いわき民報社
●関東地方/茨城新聞社/常陽新聞社/下野新聞社/上毛新聞社/桐生タイムス社/埼玉新聞社/神奈川新聞社/千葉日報社
●中部地方/山梨日日新聞社/静岡新聞社/信濃毎日新聞社/長野日報社/南信州新聞社/市民タイムス/中日新聞社/名古屋タイムズ社/中部経済新聞社/東愛知新聞社/岐阜新聞社
●北陸地方/新潟日報社/北日本新聞社/北國新聞社/中日新聞北陸本社/福井新聞社/日刊県民福井
●近畿地方/伊勢新聞社/夕刊三重新聞社/京都新聞社/神戸新聞社/テリリススポーツ社/奈良新聞社/紀伊民報社/南紀州新聞社
●中国地方/山陽新聞社/岡山日日新聞社/中国新聞社/新日本海新聞社/山陰中央新報社/島根日日新聞社/山口新聞社/宇部日報社
●四国地方/徳島新聞社/四国新聞社/愛媛新聞社/高知新聞社
●九州地方/西日本新聞社/朝日新聞西部本社/毎日新聞西部本社/読売新聞西部本社/佐賀新聞社/長崎新聞社/熊本日日新聞社/大分合同新聞社/宮崎日日新聞社/南日本新聞社/南海日日新聞社/沖縄タイムス社/琉球新報社/八重山毎日新聞/宮古毎日新聞

